

Ikuhou 通信 ~1月号~

令和6年12月2日発行

育宝進学塾ホームページ<https://www.ikuhou.com>

飯能教室: ☎ 042(972)5543 ✉ hannou@ikuhou.com
入間教室: ☎ 04(2963)2376 ✉ iruma@ikuhou.com
小川教室: ☎ 0493(73)2221 ✉ ogawa@ikuhou.com
東松山教室: ☎ 0493(81)4970 ✉ higashimatsuyama@ikuhou.com
武蔵藤沢: ☎ 04(2902)6910 ✉ musashi-fujisawa@ikuhou.com
新所沢教室: ☎ 04(2968)6835 ✉ shintokorozawa@ikuhou.com

最新情報

10月1日付けで埼玉県教育委員会から「県内公立高校進学希望状況」が発表されました。
(普通科を掲載してあります。)

学校名	募集人員	進学希望者	倍率	昨年同時期
浦和	358	537	1.50	1.36
浦和一女	358	449	1.36	1.21
大宮	318	614	1.93	2.01
川越	358	545	1.52	1.49
川越女子	358	427	1.19	1.21
熊谷	318	304	0.96	0.86
所沢北	318	486	1.53	1.48
熊谷女子	318	261	0.82	0.75
所沢	358	611	1.71	1.89
坂戸	318	400	1.26	1.29

学校名	募集人員	進学希望者	倍率	昨年同時期
松山	278	218	0.78	0.78
川越南	358	699	1.95	2.05
松山女子	318	308	0.97	0.91
所沢西	318	468	1.47	1.42
入間向陽	318	414	1.30	1.32
坂戸西	318	351	1.10	1.17
小川	198	198	1.00	0.84
豊岡	318	351	1.10	1.40
飯能	278	270	0.97	0.73
川越西	318	315	0.99	0.88

ご報告など

【読書感想文コンクール 受賞者発表】

夏休みに応募した「読書感想文コンクール」にて、育宝進学塾から受賞者ができました。おめでとうございます！次回のコンクールも頑張りましょう！

特選 小5 小久保秀馬 小5 佐藤花鈴 小5 白木星衣

小6 関口侑真 小6 野村心音

入選 小6 大里侑愛 小6 奥野詩季

1月の予定

中3正月特訓について

今年度は **12/31・1/2** の **2日間での実施**になります。入試に向けて自力で得点をとれるようにするプログラムになっていて、毎年たくさんの方に参加いただいております。まだわずかですが空席がございます。お考えの方はぜひお申し込みください。

1月の北辰テストについて

中3第八回の北辰が1月26日に実施されます。県立高校受験に向けての最後の北辰テストになります。数学・英語に関しては学校選択問題タイプを選んで受験することもできます。北辰テストで自分の力を試す最後のチャンスになるので、しっかりと準備をしてベストを尽くしましょう。

冬期講習について

小1から高3を対象に**冬期講習**があります。中2までは夏期講習同様『**復習してしっかりと定着**』を目標に頑張ります。苦手なところをそのままにしておくのは大変危険ですので、次学年の基礎をしっかりと作っていきましょう。学年によって日程・時間が変わりますので、詳細は時間割をご覧ください。

各検定試験について - 1月分 -

今年度最後の検定試験が下記の通り実施されます。「入試に有利」という目先の損得でなく、『**自分を高める**』一つの手段として、目標を定め、しっかりと取り組んで欲しいと思います。

◇英語検定	12/6 締切	◇漢字検定	12/13 締切	◇数学検定	12/20 締切
	1/18 実施		1/25 実施		2/8 実施

中1・2第五回 中3第七回模擬テストについて

中1・2第五回、中3第七回模擬テストが1月11日に実施されます。中3は、最後の模擬テストになります。全員が必ず受験するようにしてください。また、当日都合の悪い場合は「事前受験」が出来ます。事前受験の日程については各教室までお問い合わせください。

小学部1月統一テストについて

今年度最後の統一テストが小学生を対象に実施されます。次学年でのクラス編成を決める大切なテストです。1月17日(金)から各授業時間を使って行われます。範囲は2週間前に発表されますが、それぞれの学年の総復習になります。講習を含めて早めに準備を進めましょう。

保護者様への情報コーナー

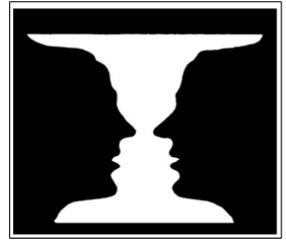
今月のテーマ：ルビンの壺

「ルビンの壺」と言われる絵をご存知の方も多と思います。絵の白い部分を見ると壺に見えて、黒い部分を見ると二つの顔が向き合っているように見えるというものです。二つの絵を同時に見ることはできず、壺として見ているときには、顔は認識できず、顔として見ているときは、壺を認識できません。人によって、どちらかの絵が極端によく見えるのです。

このルビンの壺のように、親と子が、同じものを見ている、子どもが壺を認識していて、保護者が顔を認識しているとしたら、同じ絵を見ているようで、違うものを見ているわけですから会話は成り立たないのです。

このギャップを埋めるには、「相手の関心に関心を向ける」以外に方法はありません。「相手の関心に関心を向ける」ということは、自分の認識や意識を一旦棚上げして、相手の見方で事象を見るという、共感の姿勢が非常に大切になってきます。

子どもが部屋でゲームをしている姿を見て、



親：「お母さんが何度も勉強しなさい！と言っているのに、何であなたは勉強しないの！」

子：「わかってるよ！」

というやり取りは、親の見やすい視点でとらえているのです。これを、共感の視点で捉えると、

親：「今、勉強していないようね。あなたのことだから、勉強しなきゃいけないことは十分わかっていると思うわ。今、勉強していないのは、何か困っていること、問題があるのかしら・・・？」

子：「やらなきゃいけないのは、わかっているけれど、難しくてやる気にならないんだ」

親：「やっぱり、やらなきゃいけないことは意識していたのね。確かに、難しい問題だとやる気にならないわよね。もし、よければ、お母さんが少し教えようか」

子：「本当！助かる！でも、お母さんにわかるかな～、結構難しいよ」

親：「そうなの、それじゃあ、一緒に考えましょうか」

子：「うん！」

親の視点で、ネガティブな感情むき出しに怒ることは簡単ですが、子どものやる気を伸ばしたいのなら、まず共感の姿勢で臨みましょう。どうしても叱る必要があるのなら、その後でも遅くはないでしょう。是非、子どもの視点に立ち、子どものやる気を引き出しましょう！

このコーナーでは、保護者の方へ、お子様との関わり方についてお伝えしていきます。

お近くで塾を探しているお子様や保護者様はいらっしゃいませんか??

ぜひ、育宝進学塾にご紹介ください。

お問い合わせTEL 04-2963-2376 鳴倉までご連絡ください。